



自他の違いを認め、互いに尊重しあえる人間の育成をめざす

枚方中学校 学校だより

校 訓
人 間 尊 重

令和元年度の終わりを迎えて

新型コロナウイルスによる休校により、今年度は突然の終わりを迎えることとなりました。昨年度は、大阪北部地震に始まり、西日本豪雨、台風21号などにより、本校でも樹木の倒壊や施設の破損がありました。今年度も新型コロナウイルスによる急な対応が迫られました。また、3年前から始まりました本校の施設の工事(一昨年度:トイレ改造工事 昨年度:校舎内装工事 今年度:体育館・技術棟の外壁塗装工事 校舎周りの樹木の伐採、耐震補強工事など)ではご不便をおかけしましたが最近、ようやく終わりを迎えることとなりました。ここ数年は落ち着かない日々が続くことになりましたが、枚中生の皆さんは、日々できることに専念し、はつらつと学校生活を送っていました。その姿勢は本当に素晴らしいものでした。

皆さんの人生においてもこれから先、まだまだ多くのピンチが待ち受けていると思います。しかし、ピンチを迎えた時だからこそ、平穏な時にはしない工夫や努力をすることもあります。案外、そんな時に取り組んだことが自分にとって大きな財産となっていることがあります。ピンチをチャンスととらえ、常に何ができるのかを考えて過ごしてほしいと思います。

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんが入学した3年前に私も枚方中学校に転勤してきました。私が一番思い出に残っているのが、1年生の時の淡路島の宿泊学習です。まだ、小学生のあどけなさを残しながら、一緒に魚釣りなどをしたことを懐かしく思います。今、立派に成長した姿を見て、これからの活躍が楽しみです。枚方中で生活したことを心の中に残し、大きく飛躍してください。

職業講話 2月3日(月) 5校時

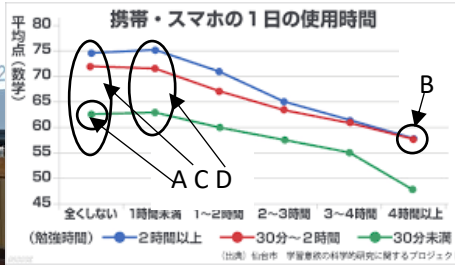


本校のキャリア教育の取り組みとして、各分野から社会人として働く方々をお招きし、それぞれの仕事についての講話をしていただきました。この日は講師の方の案内から講話の司会進行まで、全て生徒が中心となって運営を担いました。私が校長室で講師の方へご挨拶をしていますと、次々に担当の生徒が校長室を訪れて、あいさつをしてから講師の方を教室へ案内していきました。その姿を見て頼もしく思いました。講話も和やかな雰囲気で行われましたが、驚いたこととして、講師の方の話のうまさがあります。パワーポイントを使って画像や経営のデータを示したり、実技を見せていただいたり、自らの体験談や生きる姿勢など、どの教室に行っても思わず引き込まれそうな説得力のある講話を聞かせていただきました。特に美容師の方のお話の中で、「これからAIがどれだけ発達しても我々の髪を切る技術は人間にしかできない。」という言葉が心に残りました。世の中が進化しても人のやるべきことは忘れないでおうと改めて思いました。

生徒の皆さんもメモと取ったり、質問したり、積極的に参加していました。1時間の中で多くのことを吸収できたと思います。この後は、お礼状や個人新聞の作成につながっていきます。

生徒朝会 2月14日(金) 8:30

校長講話



生徒会より



◎校長講話「スマホ使用と脳(学力)の関係について考える。」

宮城県仙台市の中学生のべ7万人を5年間追跡調査した結果、スマホの使用時間が脳や学力にどのように影響するのかがわかってきました。

①自宅学習が長くてもスマホの使用時間が長いと成績は悪くなる。(仙台市立中学校 数学の成績より)

A群の生徒	自宅学習30分未満	スマホを全くしない	数学の平均点63点
B群の生徒	自宅学習2時間以上	スマホを4時間以上	数学の平均点58点

・「ながらスマホ」(勉強しながら、食事しながら、)ができてしまうので、知らない間に長時間使用になることがあります。

②スマホの使用時間(概ね1時間未満)を守って、うまく使うことが大切である。(自分を律すること)

C群の生徒(スマホしない)	自宅学習30分未満 平均点63点	自宅学習30分～2時間 平均点73点	自宅学習2時間以上 平均点75点
D群の生徒(スマホ1時間未満)	自宅学習30分未満 平均点64点	自宅学習30分～2時間 平均点72点	自宅学習2時間以上 平均点76点

・スマホ使用が1時間未満だと、大きな影響はないが、1時間以上になると、右肩下がりに成績が悪くなる。

※ただし、スマホを使うのをやめたり、使用時間を減らすと脳の機能は回復するので安心してください。

③スマホなど、デジタルコンテンツが発展した時代において、あえてアナログの取り組みも大切にする。

脳は、同時にいろんなことをするとストレスを受けます。特に人間本来の高度な取り組み(考える・記憶する・応用する・集中するなど)を司る脳の「前頭前野」の機能が低下します。また、電話で話をしたり、コンピュータと将棋をしたり、パソコンで手紙を書くよりも人の顔を見て話しをする、誰かと対面で将棋をする、手書きで手紙を書くなどのアナログの取り組みが脳の活性化につながるそうです。

まとめ スマホの使用時間を守る。アナログの取り組み(手書き・対話・交流など)も大切にする。→脳の発達を促す。

市立公立中学校生徒美術展 2月14日(金)～2月19日(水)



今年も美術展の季節となりました。毎年、本校や他校の中学生の作品を見るのが楽しみです。私が行った時には、一般のお客さんも多数来られていて、会話の内容から毎年来られている方も多かったです。

さて、枚中生の作品ですが、美術科の細川先生も言っておられますが、本校の生徒は、作品に取りかかるまでに考える時間をじっくりととる生徒が多いそうです。入念に発想を練り、作品の取り組みも実に丁寧だそうです。私も作品の仕上がりとはい別に中学生とは思えない作品の切り口に驚かされることが多々あります。ほっと一息つける時間になりました。

1年生: 仮面(何より自由な発想が素晴らしく、粘土以外の様々な材料も利用して表現の幅を広げています。)

2年生: 銅板レリーフ(生き物をモチーフに表現がリアルです。)ポスター(見る人に印象が残る表現を追求しています。)

3年生: カラー点描画(赤黄青黒の4色で制作されています。)寄木細工(天然木材を使用した丁寧な仕上げです。)

2年生保護者説明会 2月20日(木) 16時



2月に入り、私学入試や公立の特別選抜など、本格的な入試の時期を迎えました。2年生にとっても入試まであと1年となり、この日は「進路説明会」を開催しました。私からは生徒の希望が叶えられるように学校と保護者の皆様との密な連携をお願いしました。学年主任の細川教諭からは、最近の学年の様子について話をしました。その後、進路の取り組みについて大石教諭から説明を行いました。先日行われました「2年生の保護者の皆様と学年教員との懇談会」で保護者の皆様からいただきました進路に関する質問についてもこの日、回答させていただきました。これからの1年間は、進路先を決めるだけでなく、「進路先で何をしたいのか」「どのような生き方をしたいのか」というキャリア教育の視点で取り組んでいきたいと考えています。ご家庭でもじっくり話しあえる時間をとっていただければと思います。

3年生の思い出・人物レポート(英語) 卒業制作(理科)



卒業を迎えた3年生は、校内にいくつかの思い出を残してくれました。一人ひとりの枚中での足跡が伝わってきます。


◎人物レポート(英語) 写真上段

自分の興味のある人物を写真やイラストなどを交えて英語でまとめています。歴史上の人物から科学者、作家、事業者、スポーツ選手、芸能人などを対象に、どれもよく調べられています。大人も知らない発見をいくつも見つけました。

◎卒業制作(理科) 写真下段

自然災害や環境問題などをテーマに4人班で作成されました。「絶滅危惧種」「遺伝子組み換え」「PM2.5」「集中豪雨」「世界の海の現状」など、いろんなところから情報を集めて、生徒自身の言葉でまとめられています。

自分の頭で考えて新しいものを生み出すからこそ、取り組んだものが大きな価値をもつことになります。

4月の行事予定 (変更になることがあります。)											
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	水		9	木		17	金		25	土	
2	木		10	金		18	土		26	日	
3	金		11	土		19	日		27	月	家庭訪問⑤
4	土		12	日		20	月	家庭訪問①	28	火	家庭訪問⑥
5	日	入学式	13	月	離任式	21	火	家庭訪問②	29	水	
6	月		14	火		22	水	家庭訪問③	30	木	家庭訪問 
7	火	入学式	15	水		23	木				
8	水	始業式	16	木		24	金	家庭訪問④			

